学校番号	３１０

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	古典演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「新編　古典探究」（東京書籍）						
副教材等	「ビジュアルカラー　国語便覧　改訂版」（大修館書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
様々な文章で「読む能力」を向上させるとともに、積極的に今までの学習を生かして登場人物の心情や人物像についての理解を深めてください。
多くの古典を読み、さまざまな時代のものの見方、歴史的背景に触れることで、多様な感性を持ち、それを自身の生活や身の回りに生かしていく努力をしていきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、古語や文法からその特質を理解し適切に使っている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，古典などを通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	随筆を味わう ［教材］ 『枕草子』「中納言参り給ひて」	a：古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 b［ 読 ］：文章の種類を踏まえて，古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：積極的に今までの学習を生かして現代にも連なる心情について自らの考えを深めようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート
	唐詩の表現を楽しむ ［教材］ 「送元二使安西」「静夜思」	a：先人のものの見方，感じ方，考え方に親しみ，自分のものの見方，感じ方，考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 b［ 読 ］：作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み，その内容の解釈を深め，作品の価値について考察している。 c：進んでさまざまな唐詩を読み味わい，学習課題に沿って，言語感覚や想像力を豊かにしようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート
	歴史物語を読む ［教材］ 『大鏡』「三船の才」	a：古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 b［ 読 ］：文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えている c：積極的に歴史物語の人物関係や時代背景について調べ，今までの学習を生かして登場人物の心情や人物像についての理解を深めようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート
	史記を味わう ［教材］ 「四面楚歌」	a：時間の経過による言葉の変化や，古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 b［ 読 ］：文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えている。 c：現代の私たちの生活に当てはめて考えたことを，今までの学習を生かして随筆にまとめようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート
2学期	作り物語を味わう ［教材］ 『源氏物語』「若紫」	a：古典の作品や文章に表れている，言葉の響きやリズム，修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b［ 読 ］：文章の種類を踏まえて，古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：今までの学習を生かして登場人物の言動や話の概要とその意味について考察しようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート 課題の取り組み
	歌話・歌論を読む	a：古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。	定期考査	定期考査	ワークシー

	［教材］ 『古今和歌集仮名序』「やまと歌は」	b［ 読 ］:文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えている。 c:積極的に歌論に述べられた論旨を捉え，今までの学習を生かして自分の考えを深めようとしている。			ト
	中国の知恵 ［教材］「塞翁馬」	a:古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 b［ 読 ］:文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えている。 c:進んで古代中国のさまざまな考え方に触れ，学習課題に沿って寓話や故事成語の意味について理解を深めようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート
	歌物語を楽しむ ［教材］『伊勢物語』「東下り」	a:古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 b［ 読 ］:文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えている。 c:積極的に歌物語の特徴について理解し，今までの学習を生かして，登場人物の心情や作品に表れているものの見方，感じ方，考え方を読み取ろうとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート
3学期	歌話・歌論を読む ［教材］ 『無名抄』「出で映えすべき歌のこと」	a:古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 b［ 読 ］:文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えている。 c:積極的に構成を捉えながら歌論を読み，今までの学習を生かして内容の解釈を深めようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート
	歴史物語を読む ［教材］ 『大鏡』「道真の左遷」	a:古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 b［ 読 ］:文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えている c:積極的に歴史物語の人物関係や時代背景について調べ，今までの学習を生かして登場人物の心情や人物像についての理解を深めようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ［　］について…括弧内には［　話／聞、書、読　］のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　０　）時間

・書くこと　…　（　０　）時間

・読むこと　…　（　７０　）時間